

道の駅あらお（仮称）基本構想骨子（案）

目次

はじめに	○本構想に至った背景など。
第1章 道の駅の概要	○道の駅の三つの機能 「休憩機能」「情報発信機能」「地域の連携機能」 ○道の駅の基本コンセプト「地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場」 ○道の駅の設置者⇒市町村、登録⇒国土交通省 ○道の駅の整備手法⇒一体型（駐車場・トイレ・情報発信施設の一部を道路管理者、 その他を設置者が整備）・単独型 ○道の駅の管理運営手法⇒公設公営（直営）、公設民営（管理委託・指定管理）、民 設民営（PPP/PFI）（国交省HP抜粋、第5回委員会）
1. 1 「道の駅」について	
1. 2 「道の駅」の基本コンセプトと基本機能	
1. 3 「道の駅」の設置者、登録方法等	
1. 3. 1 「道の駅」の設置者と登録方法	
1. 3. 2 「道の駅」の整備の流れ	
1. 3. 3 「道の駅」の登録要件	
1. 4 「道の駅あらお（仮称）」の整備・管理運営手法について	
1. 4. 1 「道の駅」の整備手法の整理	○「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組み
1. 4. 2 「道の駅」管理運営手法の整理	ゲートウェイ型（地域外から活力を呼ぶ）、地域センター型（地域の元気を創る）
1. 5 これからの「道の駅」	
第2章 荒尾市の現況	
2. 1 位置・気象	
2. 2 人口	
2. 3 農業	○2.1～2.6：人口減少時代の影響による各分野での担い手不足、農水産業、商業の衰退、有明海干潟、万田坑を活用し た観光サービスの提供(第1回委員会)
2. 4 漁業	○2.7：豊富な地域資源と良好なアクセス環境の活用、道の駅整備による地域課題の解決について(第1・2・4回委員会)
2. 5 商工業	
2. 6 観光	
2. 7 本市の地域ポテンシャルと地域課題	
2. 7. 1 本市の地域ポテンシャル	
2. 7. 2 本市の地域課題と道の駅整備による課題解決の方向性	
第3章 「道の駅」整備の目的	
3. 1 「道の駅あらお（仮称）」に関連する上位計画	
3. 2 「道の駅あらお（仮称）」の整備の目的	
3. 3 整備予定地について	
3.1：本市の最上位計画である「新・第5次総合計画」からなる上位計画と道の駅の関連性・体系図等の整理。(第1・4回委員会)	
3.2：整備目的を【地域経済の活性化】【にぎわいとくつろぎの場の創出】【防災拠点の形成】と設定(第2回委員会)	
3.3：有明海沿岸及び有明海沿岸道路の道の駅としての位置づけ。ウェルネス拠点基本構想における機能連携の中心施設としての位置づけから これまでに無い道の駅として差別化を図る。(基礎調査・第1～3回委員会、第5回委員会)	
第4章 「道の駅あらお（仮称）」のコンセプト	
4. 1 荒尾市が目指す「道の駅あらお（仮称）」	
4. 2 「道の駅あらお（仮称）」整備におけるコンセプトと整備の方向性	
4.1：地産地消の推進による地域内経済の好循環を図る。	
4.2：コンセプト【しあわせと元気の創造ステーション ～有明の海と小岱の山で紡ぐ「食ものがたり」】⇒「食」にフォーカス 整備の方向性 ・特徴ある荒尾の地域資源を活かしたサービスにより、来訪者に満足度の高いおもてなしを提供する施設 ・南新地地区に立地する新たな施設との機能的な連携により、複合的なサービスを提供する施設 (第3・4回委員会)	
第5章 「道の駅あらお（仮称）」導入機能、施設イメージ	
5. 1 導入機能と施設展開	
5. 2 導入各機能概要	
5. 2. 1 地域連携機能	5.1：導入機能 地域連携、情報発信、休憩、防災、その他 (第3・4回委員会)
5. 2. 2 休憩機能	5.2：各導入機能の概要
5. 2. 3 情報発信機	ex)地域連携機能（荒尾産特産品販売、荒尾らしい料理の提供、荒尾らしい加工品等の製造・販売、 地域資源を活用したイベント）(第3・4回委員会)
5. 2. 4 防災機能	
5. 2. 5 その他機能	
5. 3 南新地地区ウェルネス拠点における施設間機能連携及びスマートシティについて	
5. 3. 1 施設間機能連携	5.3：ウェルネス拠点内で道の駅を中心に各施設の機能が相互に連携し新たな価値を提供
5. 3. 2 スマートシティ	スマートシティの取組みに基づく先進的な技術の導入 (第1～3回委員会、第5回委員会)
第6章 今後の展開	
6. 1 「道の駅あらお（仮称）」構想から運営までの流れの概要	6.1：基本構想策定⇒基本計画策定⇒施設整備⇒登録申請⇒開業準備
6. 2 「道の駅あらお（仮称）」整備における今後の課題	6.2：基本計画策定等による今後の課題を整理(総括)